



平成15年12月期決算概況

平成16年3月

株式会社 ピーエイ

東証マザーズ 証券コード： 4766

目次



Part 1 決算概要

- >> 単体では、2003年12月期は、上期で125百万円の経常損失を出すものの、下期は131百万円の経常利益
通期での経常損益黒字転化

Part 2 今後の経営展開

- >> 当社のビジョン
- >> これまでの事業展開
- >> 事業別経営主題
- >> 2004年12月期業績目標

Part1 決算概要

損益計算書概要(2003年度12月期通期)



(単位 :百万円)

	単体		連結	
	2003年12月期	対前期増減率	2003年12月期	対前期増減率
売上高	1,217	16%	1,646	16%
売上原価	454	11%	976	14%
売上総利益	763	41%	669	17%
販売費および一般管理費	788	11%	1,069	3%
営業損益	25	-	400	-
経常損益	6	-	414	-
当期純損益	162	-	176	-

単体では、売上1,217百万円(前年度比16%増)、経常利益6百万円、当期純損失162百万円
連結業績については、売上高1,646百万円、経常損失414百万円、当期純損失176百万円。

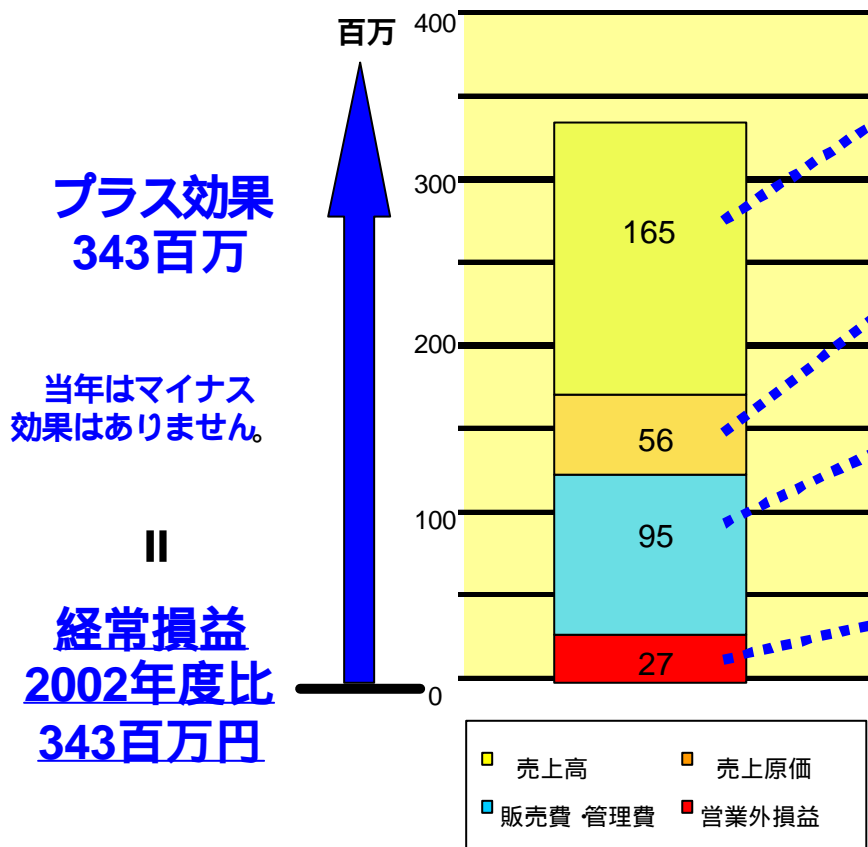
- (1)単体では、保守的な会計方針に基づき、関係会社評価損及び貸倒引当金を特別損失に計上したため、162百万円の当期純損失を計上することとなりました。
- (2)当期の連結対象は、株式会社ホロン、株式会社リナックス教育研究所、株式会社ユーエムエル教育研究所、エンジニアネット株式会社となっております。但し、当連結会計年度中に、株式会社ホロン(10月～)及び株式会社リナックス教育研究所(11月～)の2社が連結対象外となっております

Part1 決算概要

単体 2003年12月期損益ブレイクダウン



2003年度の経常損益要因



プラス効果
343百万

当年はマイナス
効果はありません。

||

経常損益
2002年度比
343百万円

売上高：

165百万円(前年比15.7%)増の1,271百万円
JOBMAILと求人情報誌の売上げの回復

売上原価：

56百万円(11.0%)減の455百万円
効果の低いサイト提携の解消

販売・管理費：

95百万円減少の789百万円
広告宣伝費、人件費の圧縮

営業外損益(純額)：

27百万円増の32百万円
手数料収入の増加

当期純損失：

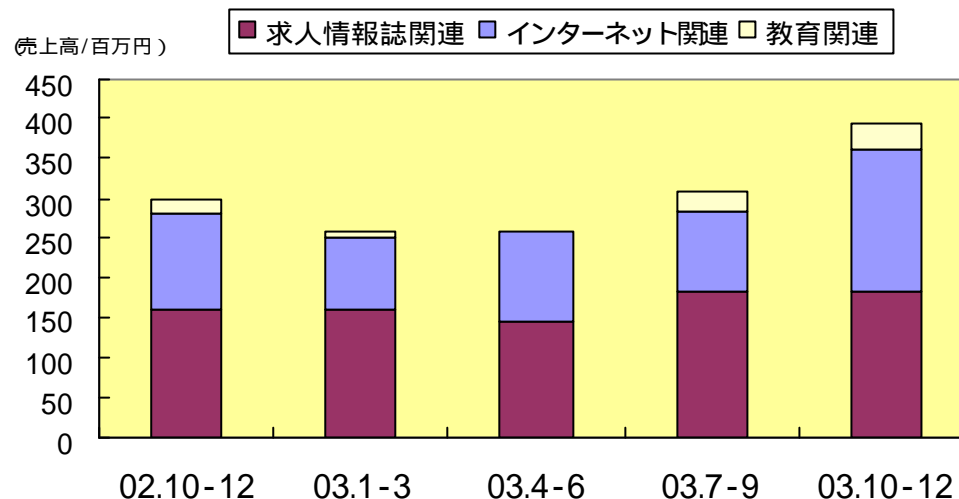
特別損失162百万円

営業の効率化により 経常利益343百万円、当期純利益202百万円改善



単体 四半期・事業業別売上高推移

事業別売上高推移



(単位:百万円)

			02.10-12	03.1-3	03.4-6	03.7-9	03.10-12	通期	対前期増減率
インターネット 関連	JOBMAIL	求人広告	64	61	58	56	128	303	15.7%
		人材紹介	42	17	41	27	34	119	29.2%
		小計	107	78	99	83	162	422	9.4%
	LicenseWorld	14	14	14	18	16	62	0.1%	
	インターネット関連計	122	92	113	101	178	484	8.1%	
求人情報誌 (ing) 関連計			160	159	146	182	183	670	14.4%
教育関連事業			18	9	6	25	35	63	241.9%

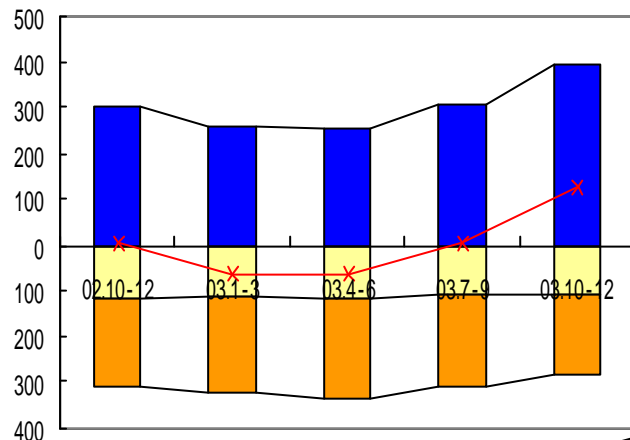
JOBMAIL、求人情報誌ingの売上高が堅調に推移。
新規事業が売上に貢献。

Part1 決算概要



単体 売上・原価・販売管理費・利益の推移

売上・原価・経費・損益対比
(百万円)



	02. 1 - 12	03. 1 - 12	
売上原価率 :	49% (510百万円)	37% (454百万円)	12%
販売管理比率 :	84% (883百万円)	65% (788百万円)	19%

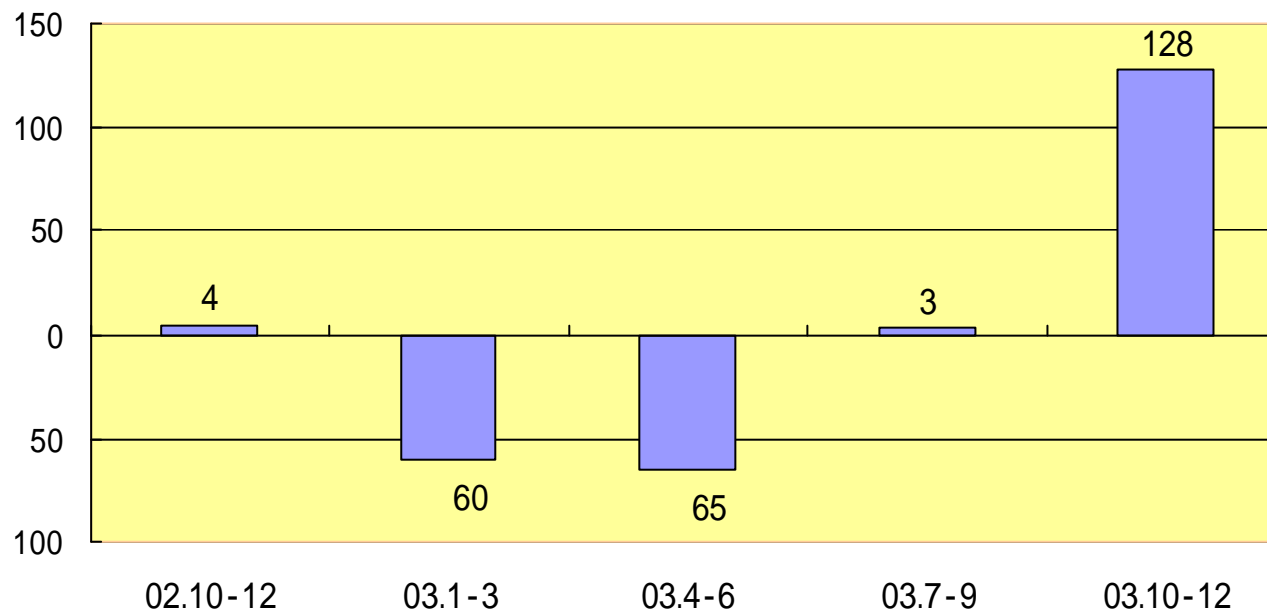


(単位 :百万円)	02.10-12	03.1-3	03.4-6	03.7-9	03.10-12	通期	対前期増減率
売上高	302	261	254	308	394	1217	15.7%
売上原価	121	115	121	109	109	454	11.0%
販売費・一般管理費	187	209	211	197	171	788	10.8%
営業利益	6	63	78	2	114	25	7.3%
経常損益	4	60	65	3	128	6	1.8%

売上を伸ばしながら、売上原価・販売管理の削減に成功



経常損益の推移



収益構造の改善に成功したことにより、下期より経常損益の回復が顕著

Part1 決算概要

連結決算の概要 - 2003年12月期



連結売上高1,646百万円 (連結倍率：1.35倍)
前期 1,948百万円 前期比15.5%減

売上総利益669百万円 (連結倍率：0.88倍)
前期 807百万円 前期比16.9%減

販売管理費1,069百万円 (連結倍率：1.36倍)
前期1,102百万円 前期比3.1%減

営業損失400百万円、経常損失414万円、当期純損失176百万円。

ホロンの株式売却価額

売却益 単体 6百万円
連結 148百万円

株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳
当連結会計年度において、株式の売却により、(株)ホロンを連結の範囲から除いたことに伴う連結除外時の資産及び負債の内訳並びに株式の売却価額と売却による収入(純額)との関係は次のとおりであります。

(株)ホロン	(平成15年9月30日現在)
流動資産	527,248千円
固定資産	366,488千円
資産合計	893,737千円
流動負債	562,057千円
固定負債	189,742千円
負債合計	751,799千円

Part1 決算概要

連結 キャッシュ・フローの概要



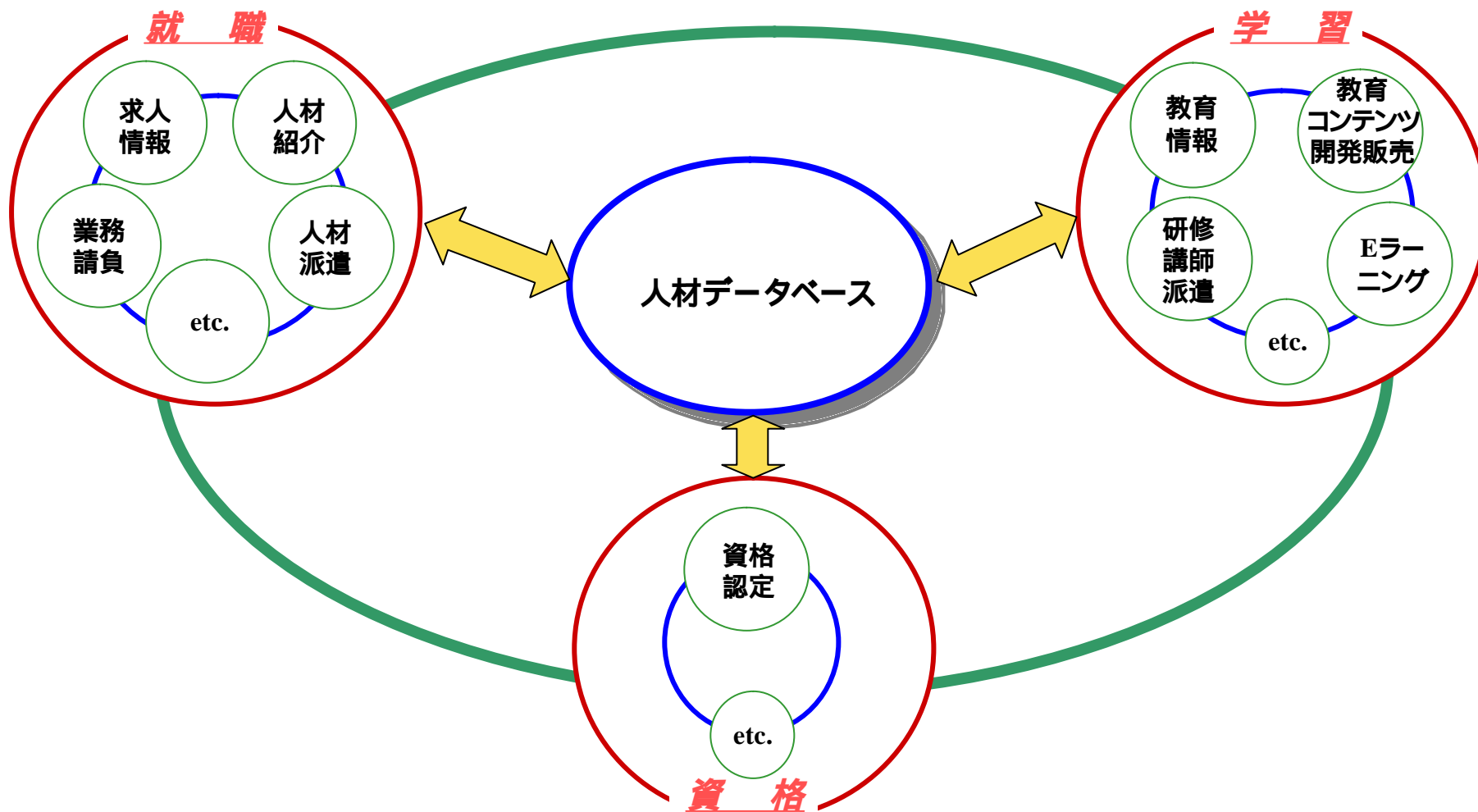
主な要因

<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動によるキャッシュ・フロー 270百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・税引前当期損失 349百万円 ・債権・債務残高増減 92百万円 ・関係会社株式売却益 148百万円
<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資活動によるキャッシュ・フロー 134百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券・投資有価証券の売却により収入 106百万円 ・定期預金の減少 269百万円
<p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務活動によるキャッシュ・フロー 357百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の増加 225百万円 ・社債の発行により収入 100百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・現金および現金等価物減少額 40百万円 (単体は98百万円増加) ・期首現金及び現金等価物残高 618百万円 (単体は381百万円) ・連結子会社減少による現及び現金同等物の減少 5百万円 ・連結子会社増加による現金及び現金同等物の増加 13百万円 ・期末現金および現金等価物残高 577百万円 (単体は479百万円) 	



当社のビジョン

就職と学習・資格を中心としたサービスを提供することにより、ライフデザインを提案する。





これまでの事業展開

求人サイト「JOBMAIL」で得たデータベース等の経営資源を活用し、
教育支援サイト「LicenseWorld」へ、更にUML、Linux教育事業へ進出。

STEP 1

就 職

[ジョブ・メール]
Jobmail

人材データベース

STEP 2

学 習

[ライセンス・ワールド]
LicenseWorld

UML講座テキスト

UML Linux講師派遣

STEP 3



資 格

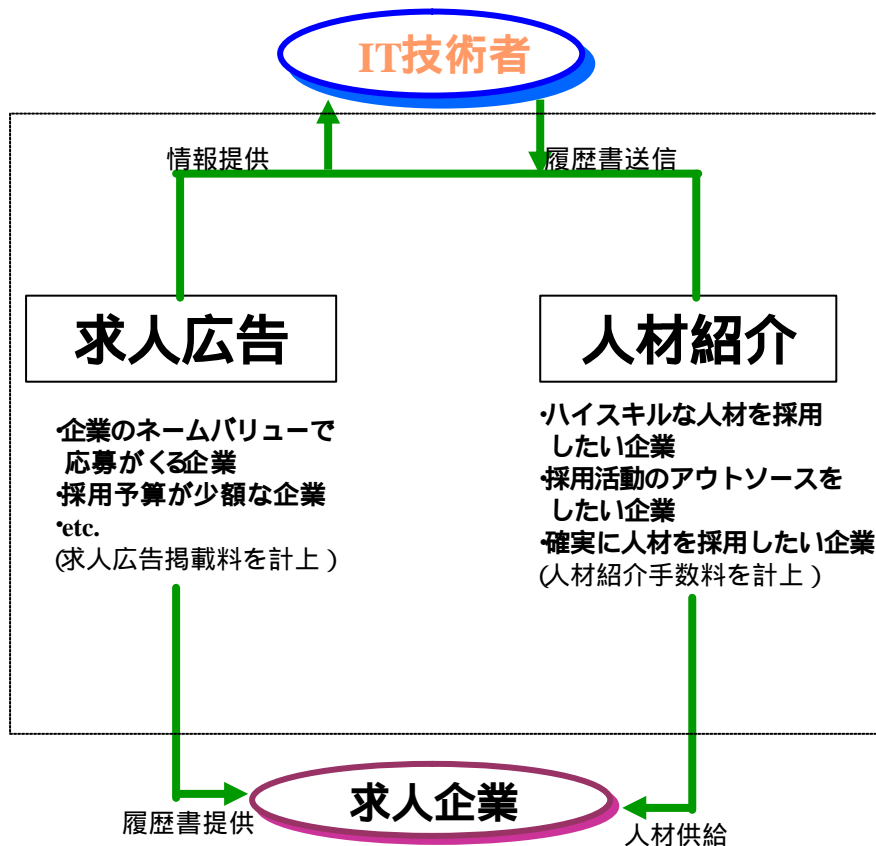
Part2 今後の経営展開



これまでの事業展開 ~ 経営資源 ~

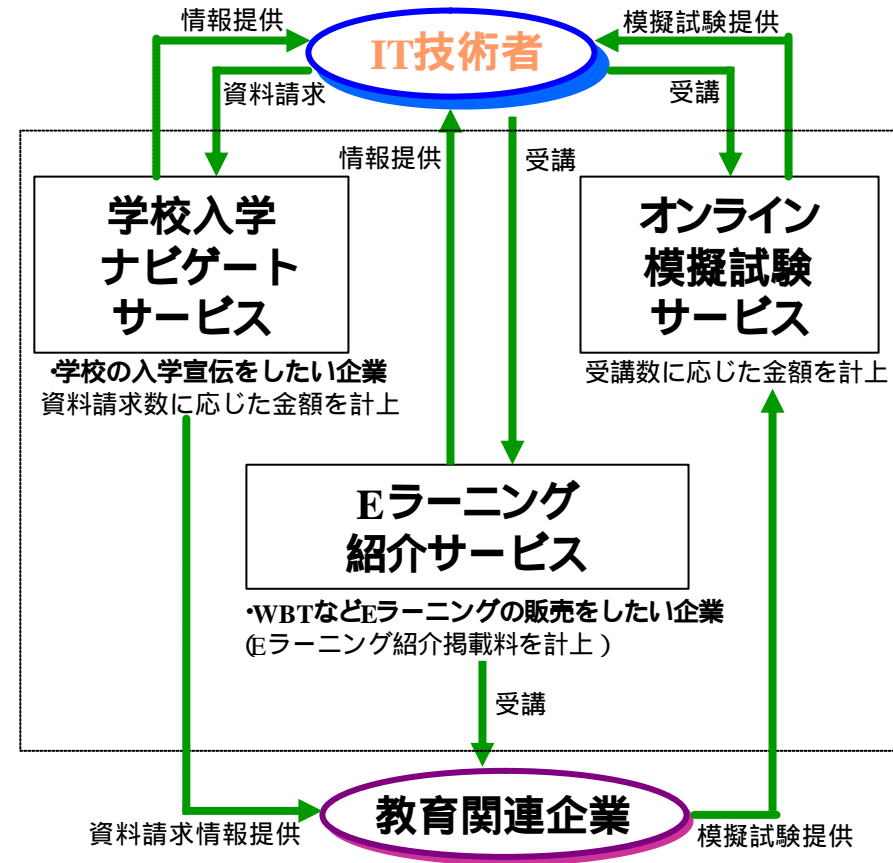
[ジョブ・メール]
Jobmail

IT技術者に特化した求人情報の提供と人材紹介サービス



[ライセンス・ワールド]
LicenseWorld

資格取得希望者に対する教育情報サービス





求人サイトの問題点と今後の展開

現在の求人サイトの問題点

履歴書等の個人情報漏洩の不安。

サイトの構成が求人誌の延長にすぎず、求人情報が検索できるだけ。

情報の検索は求職者に任されているため、ミスマッチが起こりやすい。

集客、そして履歴書獲得をポータルサイトに依存している。

etc.

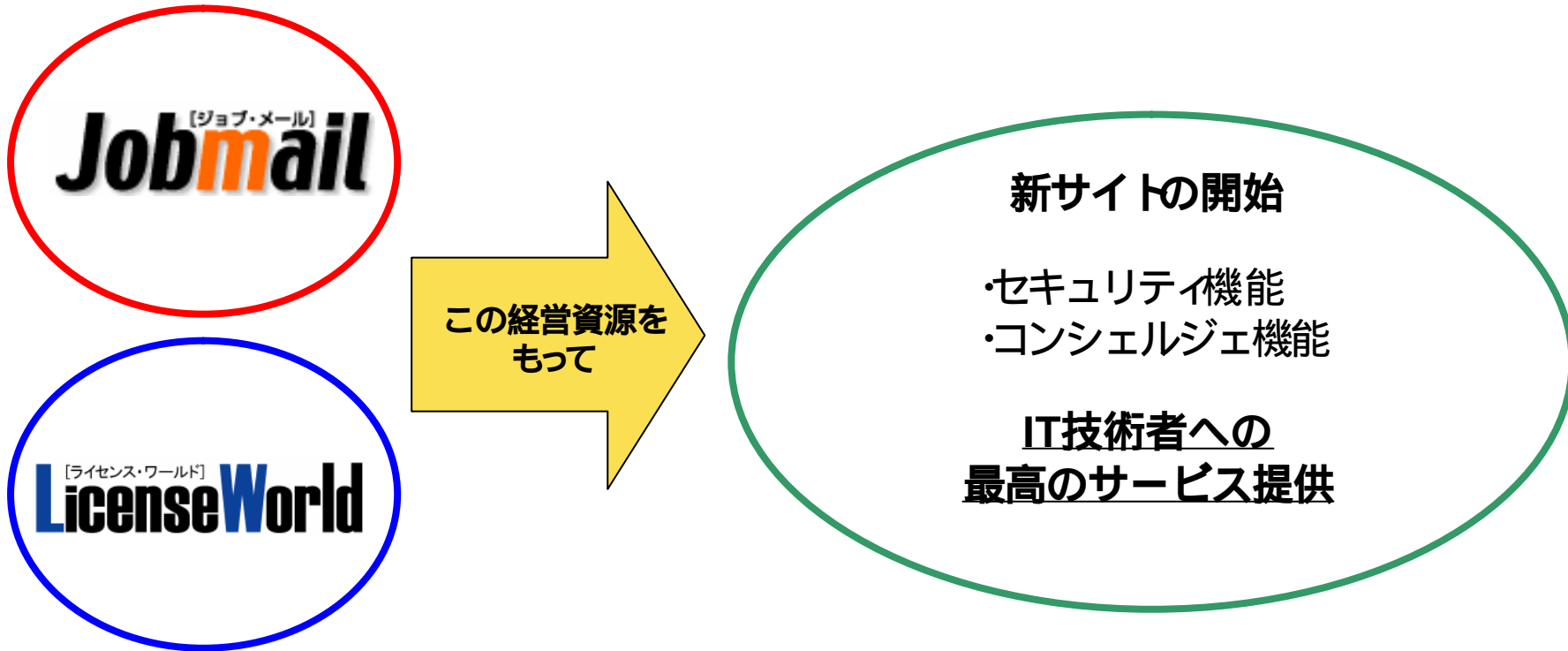
この問題点を解決するために

当社は新たな試みを行う



求人サイトの問題点と今後の展開

既存の経営資源を最大限活用して、ライフデザインを提案する総合サイトへ





UML資格認定事業 ~これまでの動き~

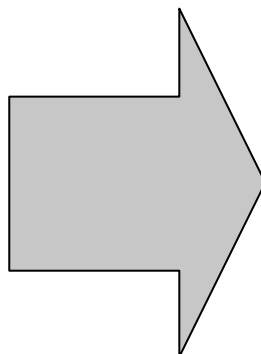
OMGが公認する世界で唯一の技術者認定プログラム「OMG認定UML技術者資格試験」
UTIがアジア・パシフィック地域で独占契約を締結。

1. UMLとは

システムのモデル(設計、青写真)を記述するための言語。世界共通の「標準設計記法」。

2. なぜUMLか

UMLは世界的に普及。日本は、出遅れている。今後の普及が見込まれる。



3. 当グループは

2002年11月 OMGジャパンと共同出資(株)ユーエムエル教育研究所(UTI)を設立。

2003年 4月 UTIが、OMGとアジア・パシフィック地域におけるOMG認定UML資格試験実施の独占的契約を締結。

2003年11月 UTIとOMGが世界130カ国以上で同時に、「OMG認定UML技術者資格試験」を開始。

OMG(正式名称、オブジェクトマネジメントグループ: 米国マサチューセッツ州)は、世界最大のソフトウェア標準化団体として、IBMをはじめとする約780社のメンバーを抱えるNPOです。UMLを標準化し、著作権を管理運用しています。

UTIは、UML資格認定事業を中心としたUMLの普及活動を行うために設立されました。OMGとの関係を活かし、資格認定試験だけでなく、学校、教科書、カリキュラム等の認定も推進しています。



OMGが公認する世界で唯一のUML技術者認定プログラム
「OMG認定UML技術者資格試験」

1. プログラムの特徴

世界130カ国以上で実施。
世界で共通の問題。
世界で共通の認定基準。

2. 対象

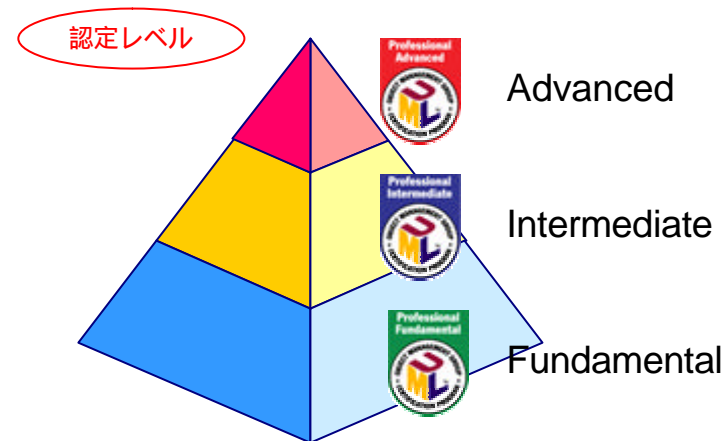
全世界のシステムアナリスト、
プログラマー、システム開発者、
設計者。

3. 試験の内容

3段階のレベルから構成。
技術に関する受験者の知識
を評価認定。

4. 実施方法

世界中に会場を持つ米国
プロメリック社により実施。



ファンダメンタル(Fundamental)

ファンダメンタルは、OCUPにおける基礎レベルとして、UMLで使われる用語や表記法に対する知識と、モデルの意味を理解する能力を認定します。

インターメディエイト(Intermediate)

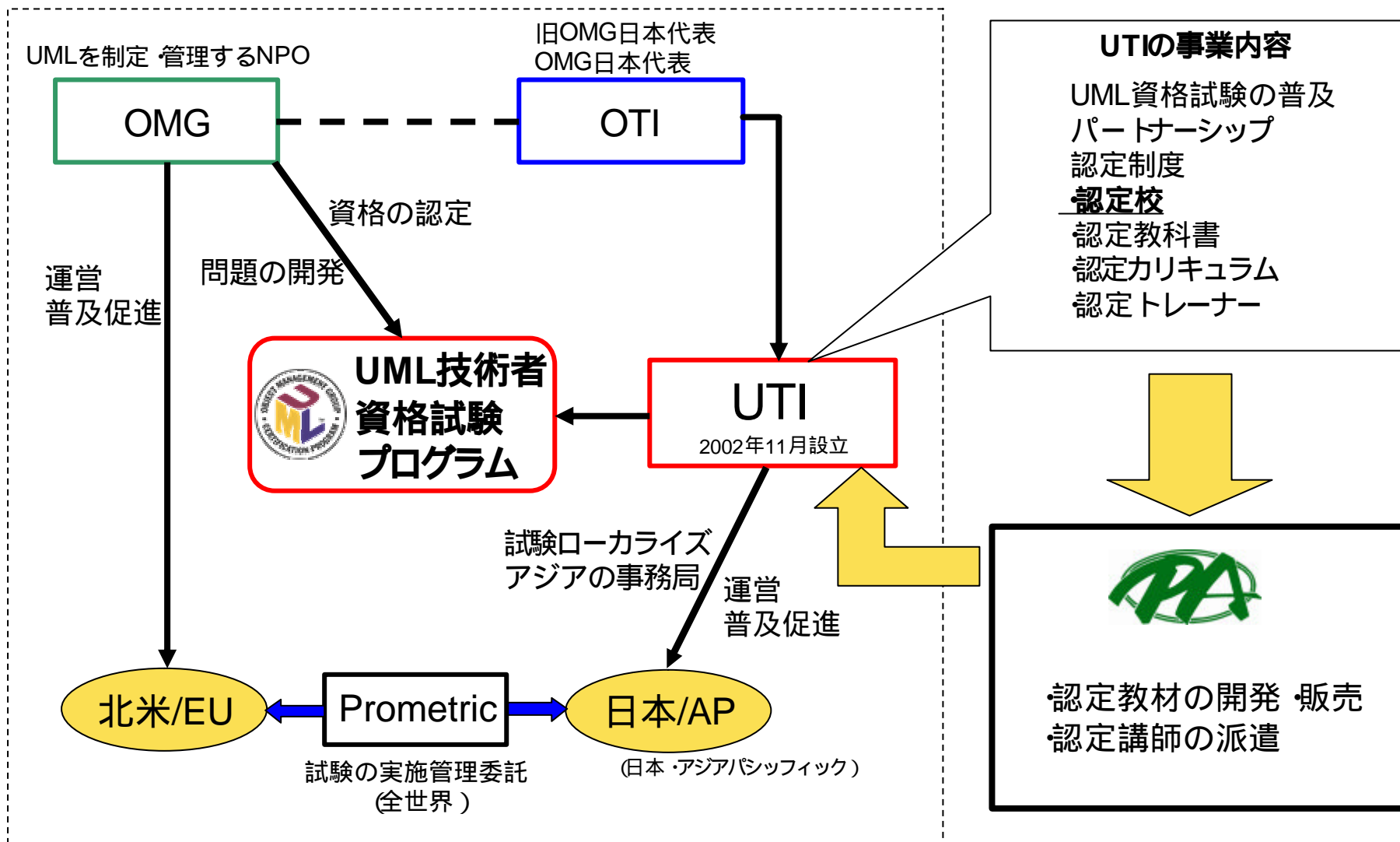
インターメディエイトは、OCUPにおける中級レベルとして、オブジェクト指向分析や設計に関する基本知識と、UML表記での簡単なモデリングを実施できる能力を認定します。

アドバンスド(Advanced)

アドバンスドは、OCUPにおける上級レベルとして、オブジェクト指向やUMLに関する高度な知識を認定します。

Part2 今後の経営展開 今後の事業別経営主題

UML教育事業～認定事業と教育事業の構造～



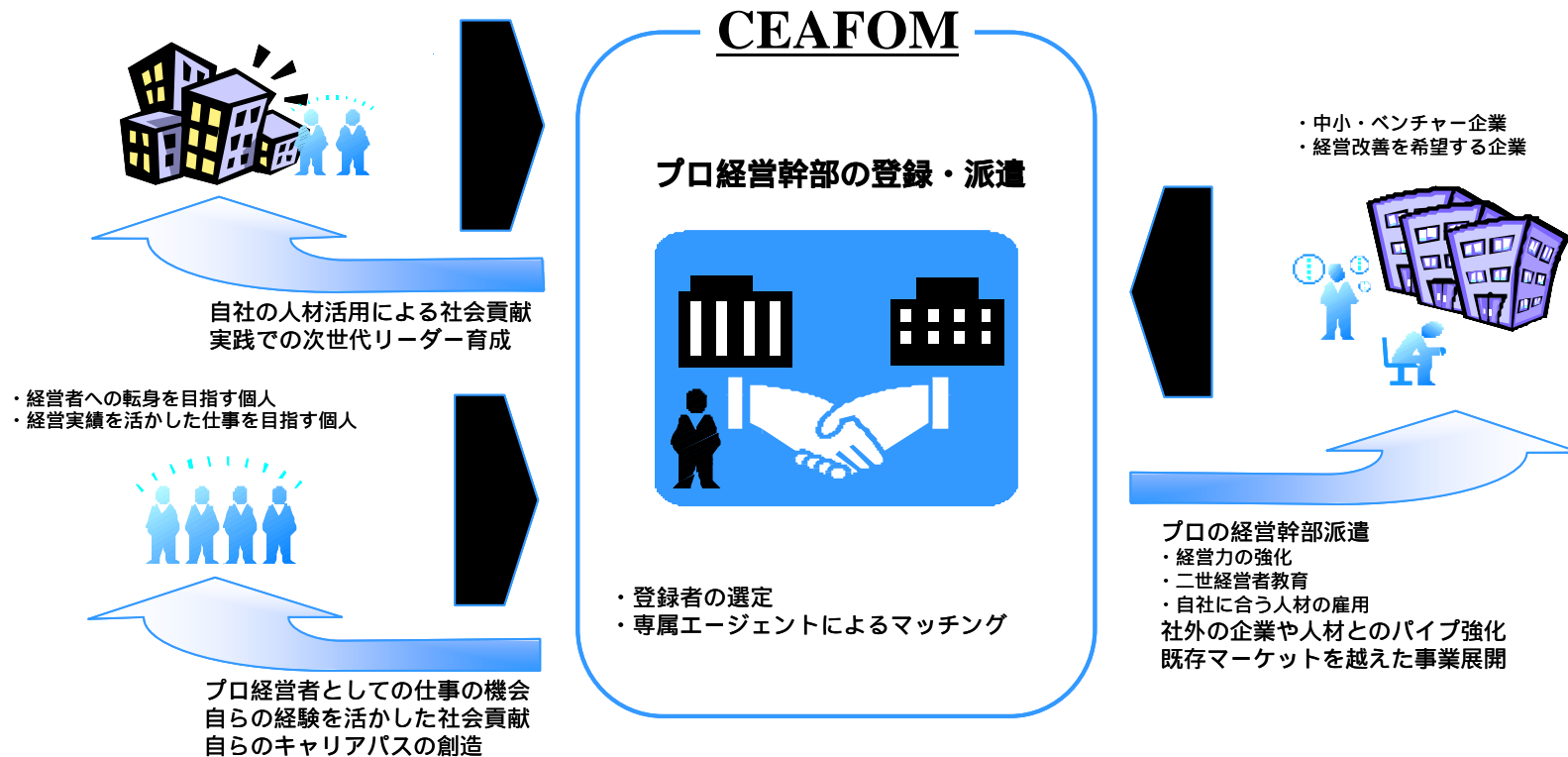
Part2 今後の経営展開～新規事業～

プロ経営幹部派遣事業



プロ経営幹部派遣を行う株式会社CEAFOM (当社持株比率83.3%)を設立 (2004年2月)

経営実績のある優秀な人材を会員として登録し、中小・ベンチャー企業や経営改善を希望する企業に、経営幹部の一員として派遣。登録時は、CEAFOMが責任を持って、経営のプロを選定。



グループ会社として事業展開！！



(単位 :百万円)

	単体		
	04/12 (予測)	03/12 (実績)	対前期成長率
売上高	1,370	1,217	12.5%
経常利益	51	6	-
当期純利益	43	162	-
1株あたり当期利益	3.89円	14.68円	-

	連結		
	04/12 (予測)	03/12 (実績)	対前期成長率
売上高	1,498	1,646	9%
経常利益	52	415	-
当期純利益	47	178	-
1株あたり当期利益	4.26円	16.12円	-

単体はこのまま堅調に推移。

< 上・下期別目標 >

	単体			連結		
	上期	下期	年度計	上期	下期	年度計
売上高	654	715	1,370	694	803	1,498
経常利益	4	47	51	11	63	52
当期純利益	0	43	43	6	53	47

～添付資料～

株式会社 UML 教育研究所



OMGが公認する世界で唯一のUML技術者認定プログラム 「OMG認定UML技術者資格試験」を実施

ソフトウェア分析・設計のためのモデリング言語UMLなどを策定する米国の非営利団体OMGの日本法人OMGジャパン(現:オブジェクトテクノロジー研究所 代表取締役 鎌田 博樹 現在も鎌田博樹氏は、OMG日本代表)と合併で設立。

OMGが公認するUML技術者を認定する世界唯一の機関としてOMGと協力してUML資格試験を作成。アジア、パシフィックで「OMG認定UML技術者資格試験」を実施。

また同時に、UML教育のレベルアップのための各種学校、カリキュラム、トレーナー、教科書の認定を実施。



商号	株式会社ユーエムエル教育研究所 UML Technology Institute Co., Ltd.
本社所在地	東京都港区赤坂2-21-15 OSビル3階
設立	2002年11月
資本金	14,600万円
役員	代表取締役 近森 満 取締役 鎌田 博樹 (オブジェクトテクノロジー研究所 代表取締役) 取締役 加藤 博敏

UMLについて



UMLとは

UMLとは、米国のNPOであるOMGによって策定された分析・モデリングの際に利用する言語です。

1970年代半ばから様々なオブジェクト指向モデリング方法論が乱立し、それに伴ってモデルを表記するための言語(モデリング言語)も様々なものが登場しました。それぞれのモデリング方法論は似通った概念(クラス、関連など)を持っていましたが、方法論によって呼び名が異なっていたり、意味が異なっていたり、表記方法(図)が異なっていました。そこで、各要素の意味(セマンティクス)と表記する方法(構文)を統一し、異なるモデリング方法論であっても知識を共有できるようにしたのがUMLです。



UMLのメリットは

UMLは、建築、土木や機械、電気、プラントなどにおける設計表記法と同じように、設計情報を正確に記述するのに不可欠であるばかりでなく、UMLをサポートしたツールを使用することにより、設計(モデル)から最小限の手間で実装環境に対応したコードを自動生成することを可能にします。UMLは次のようなメリットがあります。

- ・正確な仕様書により、設計と実装のミスマッチが避けられる
- ・UMLで記述されたソフトウェアは、統合、資産評価に必要な客観性を持つ
- ・UMLで記述されたコンポーネントは部品として再利用がしやすくなる。
- ・開発の生産性が高まり、運用コストが抑制される

従って、UMLに関する知識は、ビジネスの要求を分析し、設計仕様を作成する、アーキテクトや設計者はもちろん、実装に携わる開発者、プロジェクト管理者、発注者など、様々な立場の専門家によって共有されなければ、その真価を発揮することができません。これまで、IT技術者は、ベンダー固有の実装技術に阻まれて、十分なコミュニケーションをとることができませんでした。世界共通のビジュアル言語であるUMLを使えば、壁を意識する必要はなくなります。

～添付資料～

UML認定試験の日本におけるポテンシャル



UMLの普及度は

UMLはOMGにおいて標準化されて以後、急速に普及して世界標準となりました。設計仕様書における普及度は、欧州で100%、アメリカで90%となっており、我が国では10%未満となっております。
日本では、今後の大きな普及が見込まれております。

設計仕様書におけるUMLの普及度

欧州 100%

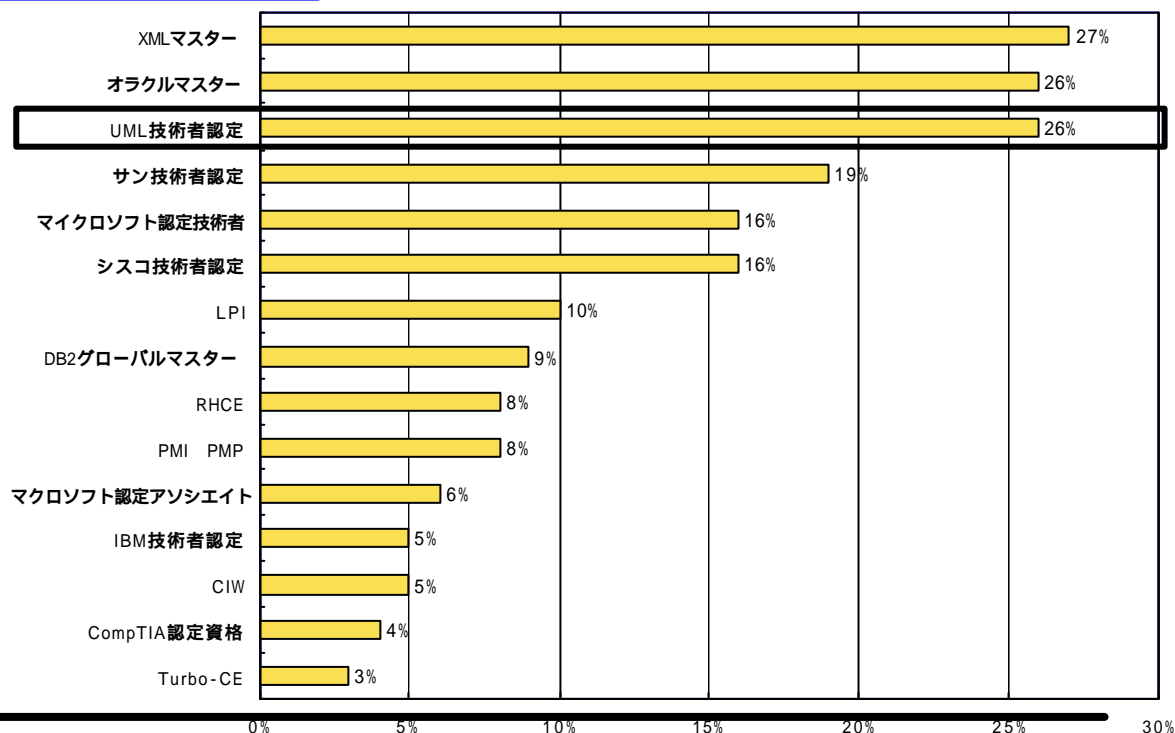
アメリカ 90%

日本 10%未満

我が国においては、今後大きな普及が期待される

今後取得したい技術でUML技術者認定は第3位

アットマークアイティ発表「IT読者調査」によると、民間資格の中で今後最も取得したい資格のひとつとして、UML技術者資格が、XMLマスター、オラクルマスターと並び選ばれました。今後UMLの普及に伴って更に関心が高まっていくと思われます。





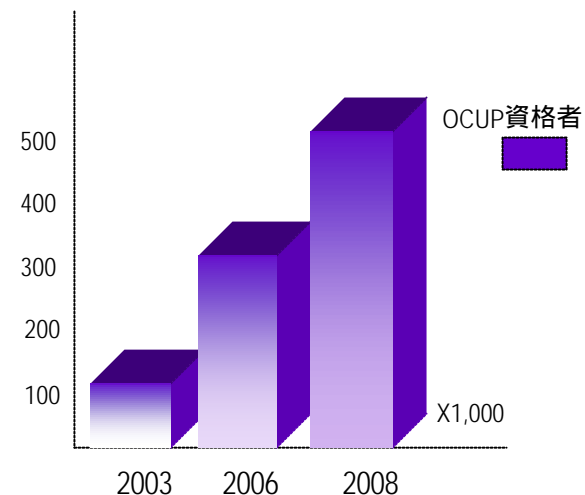
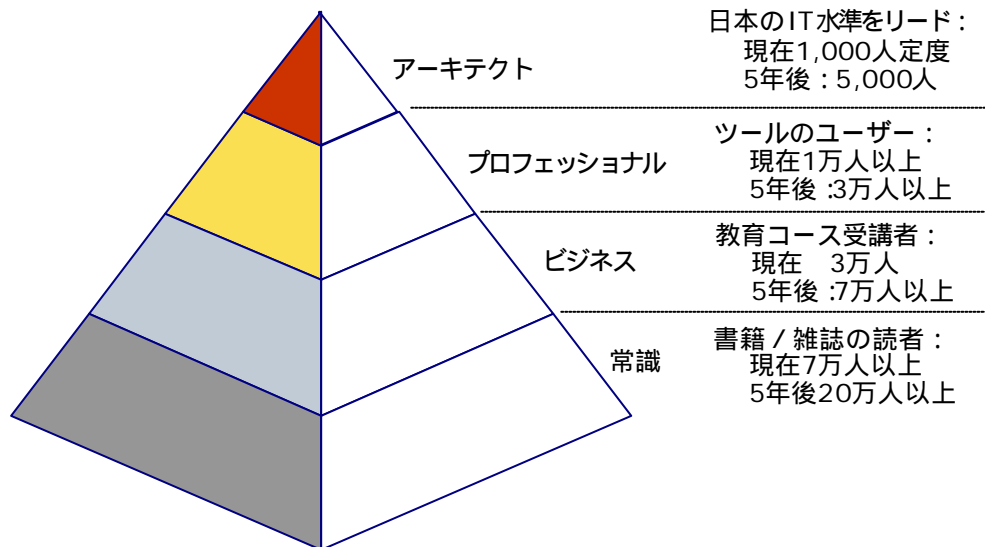
UMLユーザー人口の推定

底辺人口 現在10万人以上

- ・旧UML University認定取得者 = 70,000 +
- ・UML書籍の累計出版部数 (250,000) ÷ 2

5年後に5倍へ

- ・OMG認定技術者が市場全体をリード



現在

- ・日本のIT技術者 (約60万人の15~20%)...
- ・中級レベル以上の技術者の半数?

5年後

- ・全SE
- ・プログラマーの半数、管理・営業の1/3
- ・組込、通信など非情報系ソフトウェア開発者 :10万人

(オブジェクトテクノロジー研究所 著)

～添付資料～

株式会社CEAFOM



CEAFOMとは

社会情勢の変化は著しく、人材のミスマッチ現象により多くの有能な人材が大企業の中で活躍の場を失っている反面、中小・ベンチャー企業では経営幹部不足が成長における恒常的な課題として存在しています。その原因は、優秀な経営幹部候補者と中小・ベンチャー企業との出会いの場の不足と、経営基盤の弱い中小・ベンチャー企業が経営幹部を採用する際の報酬など採用条件の多大なリスクにあります。

PAではこれらの問題を解決するために、今まで培った人材マッチングのノウハウを活かし、プロの経営幹部派遣を行う株式会社CEAFOM (Corporate Executives' Agency For Organized Mobility) を設立致しました。企業経営を効果的に行うことを通じて社会の発展に貢献すること、また、経営に欠かせない技能を備えたプロの経営者の方々に、十分に能力を発揮し充実した人材を送ってもらうこと、この2つの社会的に有意義なことを実現してまいりたいと考えております。

会社概要

商号：	株式会社CEAFOM
代表取締役：	郡山史郎
取締役：	松本哲郎、加藤博敏、伊地知良雄
会社設立日：	2004年2月23日
事業開始日：	2004年4月1日
資本金：	30百万円 (授權資本金 3億円)
本社所在地：	東京都新宿区
決算期：	12月

